

### 9月9日は救急の日

■お問い合わせ  
下川消防署  
☎・☆4-2119

救急の日とは、救急医療と救急業務について国民の正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、昭和57年に定められました。

#### 一家庭に一救急隊員！

下川消防署では、「救命の連鎖」を途切れなく、できるだけ早くつないでいく体制づくりを目指しています。

「救命の連鎖」とは次のようなものです。

①救急の際、その場に居合わせた人が、できるだけ早く119番に通報すると同時に、救急車が到着するまでの間、心肺蘇生・AEDの応急手当を行う。

②救急隊がそれを引き継ぎ、より高度な救急救命処置を行いながら、医療機関に搬送する。

このような体制を整え、一人でも多くの「救える命」を救うため、各家庭に一人でも多くの普通救命講習受講者を増やしたいと考えていますので、ぜひ「一家庭に一救急隊員！づくり」にご協力お願いします。

また、誰でも使用が可能になったAED（自動体外式除細動器）の講習を含む講習会を希望者に対し随時、無料で開催します。団体、サークル、友達同士（概ね5名程度）などで、お気軽にお申し込みください。



2020年の状況 (7月末現在)

救急出動件数	86件
火災件数	1件

#### 新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた町民による心肺蘇生について

まだまだ、終息が見えない新型コロナウイルスにかからないように、密閉・密室・密集の3密を防ぐことやうがい・手洗いなど予防に努めましょう。さて、新型コロナウイルス感染症を踏まえた町民による心肺蘇生について変更となった部分がありますのでポイントや注意事項などを説明いたします。

#### 心肺蘇生（BLS）一連の流れ

- 1. 安全の確認**  
必ず周囲に危険はないか、自分の身は安全であるかしっかり確認して接触してください。
- 2. 意識の確認**  
倒れた人の肩を適度な強さでたたき、耳元で「大丈夫ですか」などと声掛けをしながら反応があるか確認します。
- 3. 助けを呼ぶ**  
大きな声で助けを呼んでください。また、周囲の人に119番の通報・AEDの準備を指名・協力をお願いします、必ず戻ってきてもらうよう伝えましょう。
- 4. 呼吸の確認**  
胸と腹部の動きを見て、10秒以内に観察してください。  
※約10秒間確認しても、呼吸の状態がよくわからない場合は、直ちに胸骨圧迫をしてください。

#### ポイントと注意事項

- 成人の心停止に対しては、人工呼吸を行わずに胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施してください。
- 子どもの心停止に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術が身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、人工呼吸も実施してください。
- 感染のリスクを防ぐため、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやマスクなどがもしあれば傷病者の鼻と口にそれがかぶせるように変更します。  
※タオルや衣服などでも代用できます。
- 意識や呼吸を確認する際には、傷病者の顔と救助者の顔があまり近づきすぎないように注意して下さい。  
※周囲の人や協力者等にもしっかりと感染の疑いがあることを伝え、心肺蘇生を実施してください。救急隊に引き継いだ後には、速やかにうがい手洗いをし、

#### 心肺蘇生 一連の流れ

【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う傷病者対応】



使用したハンカチやマスク等は直接触れないように捨ててください。また、消防署に連絡するときは傷病者の状態等の他に、発熱の有無や風邪症状・渡航歴等が分かれば伝えてください。ご協力をお願いします。

#### 救急車の正しい利用を

救急車の出動は年々増加しています。緊急ではないのに救急車を呼ぶと、本当に必要とする人への到着が遅れる恐れがあります。「救える命」を救うためにも、正しい利用にご理解とご協力をお願いします。

救急講習会の開催・お問い合わせは下川消防署救急係まで

■下川消防署  
☎4-2119

救急隊に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオル等は、直接触れないようにして廃棄するのが望ましい。